

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場会社名 株式会社 AQインタラクティブ  
 コード番号 3838 URL <http://www.aqi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 武市 智行  
 (氏名) 石井 武

TEL 03-3586-8808

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	2,471	△5.7	△480	—	△464	—	△769	—
20年3月期第2四半期	2,621	7.5	157	△47.3	162	△50.5	20	△88.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△14,163.49	—
20年3月期第2四半期	415.02	407.77

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	7,275	83.3	6,123	83.3	—	—	111,567.08	—
20年3月期	7,748	89.6	7,011	89.6	—	—	127,737.45	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 6,063百万円 20年3月期 6,942百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,736	18.9	70	△90.9	80	△89.5	△293	—	△5,391.38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 54,346株 20年3月期 54,346株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1株 20年3月期 1株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 54,346株 20年3月期第2四半期 48,930株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明

- (1) 当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。  
 (2) 当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適正指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における当社グループの属するエンターテインメント業界におきましては、家庭用ゲーム機の普及により堅調に推移しておりますが、ゲームソフトの販売に関しましては、ジャンルやゲーム性の多様化が進み、優勝劣敗のつきやすい激しい競争環境となっております。またアミューズメント市場は厳しい環境が続く中、当社が「ポケモンバトル」を展開しているキッズアミューズメント分野につきましては、堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにつきましてはコンシューマーゲーム事業自社販売部門において、外部クリエイターとのコラボレーションによるタイトルやキャラクターを使用したタイトルなどを販売し、「AQインタラクティブ」ブランドの早期確立を目指して参りました。しかしながら、これまで発売した主力タイトルが当社の見込みに対して、期待以上の販売実績を残すことが出来ず、同事業部門の収益化が遅れております。これは同事業開始時に想定していた次世代ゲーム機市場の事業環境や主力タイトルに対する見込みと市場からの評価が大きく異なった結果であると認識しております。その為、6月には経営体制を強化し、企画承認プロセスから制作途中のタイトル評価制度を見直すとともに、外部の調査機関を利用した客観的なデータに基づく、より精度の高いマーケティングを実施し、全てのタイトルについて採算性を見直しを行いました。これにより現時点でユーザーに期待を持って受け入れられないと判断した制作中の3タイトルに関して開発を中止し、特別損失として開発中止損328百万円を計上することといたしました。今後は、収益が見込まれるタイトルの開発に経営資源の集中が行える体制へと切り替えを行い、更に厳しく開発途上のタイトル進捗管理を行なう体制を構築して参ります。

またアミューズメント事業自社販売部門において「ポケモンバトル」の高稼働率の維持をはかるとともに、市場ニーズに合わせた新しいアミューズメントマシンの開発に取り組んでおります。5月には株式会社マイクロキャビンの子会社化したことにより当第2四半期連結会計期間よりアミューズメント事業受託開発部門が立ち上がっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,471百万円（前年同期比5.7%減）、営業損失480百万円（前年同期は157百万円の営業利益）、経常損失464百万円（前年同期は162百万円の経常利益）、第2四半期純損失769百万円（前年同期は20百万円の四半期純利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間の事業別セグメントは次の通りであります。

#### 〈コンシューマーゲーム事業〉

コンシューマーゲーム事業自社販売部門につきましては、国内において新作3タイトル、廉価版1タイトルの発売をいたしました。7月にニンテンドーDS向けソフト「KORG DS-10」、8月にPS3向けソフト「ヴァンパイアレイン -アルタードスピーシーズ-」、9月にニンテンドーDS向けソフト「ブルードラゴンプラス」をそれぞれ発売しております。その他、過去発売タイトルのリピート販売や海外パブリッシャーへの販売許諾による収入などにより、売上高766百万円となりました。

コンシューマーゲーム事業受託部門につきましては、国内大手パブリッシャーからの受託開発は順調に開発が進行しております。しかしながら海外大手パブリッシャー向けに企画提案しておりました大型受託案件が交渉に時間を要したことから、売上の計上時期が下半期以降に遅れるとともに、企画制作費および先行するプリプロダクション制作費が研究開発費の増加を招いたことから減収減益の要因となりました。結果、同部門の売上高は1,026百万円となりました。

上記の結果、コンシューマーゲーム事業につきましては、売上高1,793百万円、営業損失468百万円となりました。

#### 〈アミューズメント事業〉

アミューズメント事業自社販売部門につきましては、キッズアミューズメントマシン「ポケモンバトル」において、7月より第5弾バックコレクション「ギラティナ激震編」を投入しております。特に7月の夏休み商戦にはポケットモンスターの映画「ポケットモンスター ギラティナと氷空の花束 シェイミ」公開にあわせた積極的なプロモーション活動を展開するなど高稼働率維持の施策を行いました。あわせてゲームシステムを「ポケモンバトルスーパー」へとバージョンアップし、より戦略性の高いゲームシステムとなっております。その他ポケモンバトル関連商品等とあわせ、売上高503百万円となりました。

また、アミューズメント事業受託開発部門につきましては、5月より株式会社マイクロキャビンの子会社化したことにより、売上高174百万円となりました。

上記の結果、アミューズメント事業につきましては、売上高678百万円、営業利益202百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、株式会社マイクロキャビンを子会社化したことにより土地や建物等が増加したものの、売上債権の回収による減少や自社販売用ソフトの販売及び開発中止による仕掛品の減少や固定資産の減価償却による減少等により、前連結会計年度末に比べ473万円減少し7,275百万円となりました。負債は未払法人税等の減少があったものの株式会社マイクロキャビンを子会社化したことによる社債等の固定負債が増加したことにより前連結会計年度末に比べ414百万円増加し1,151百万円となりました。純資産は配当金の支払いや四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べ887百万円減少し6,123百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年9月12日に発表した予想数値の通り、売上高6,736百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益70百万円（前年同期比90.9%減）、経常利益80百万円（前年同期比89.5%減）、当期純損失293百万円（前年同期は517百万円の当期純利益）の見込みとなっております。

中期経営計画につきましては、本日開示いたしました「中期経営計画に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法となっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度に係る第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当連結会計年度に係る第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期累計期間の売上総利益は23,571千円減少し、営業損失及び経常損失、税金等調整前四半期純損失はそれぞれ23,571千円増加しております。

③当連結会計年度に係る第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

なお、平成21年3月期第1四半期にかかる連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年7月31日開示）をご参照ください。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,556,399	3,974,396
受取手形及び売掛金	566,747	1,067,648
商品及び製品	6,132	—
仕掛品	1,059,513	1,448,661
原材料及び貯蔵品	823	777
繰延税金資産	337,363	255,041
その他	421,137	139,339
貸倒引当金	△4,798	—
流動資産合計	5,943,320	6,885,865
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	191,023	35,975
工具、器具及び備品(純額)	385,537	490,912
土地	136,953	—
その他(純額)	10,771	3,569
有形固定資産合計	724,286	530,457
無形固定資産		
のれん	215,952	42,263
ソフトウェア	56,775	61,762
ソフトウェア仮勘定	19,353	35,784
その他	1,021	458
無形固定資産合計	293,102	140,269
投資その他の資産		
投資有価証券	45,617	—
敷金及び保証金	255,571	183,560
その他	13,402	8,389
投資その他の資産合計	314,592	191,950
固定資産合計	1,331,982	862,678
資産合計	7,275,302	7,748,543

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	362,220	147,132
未払法人税等	43,327	275,517
引当金	61,719	44,964
その他	393,434	269,298
流動負債合計	860,702	736,913
固定負債		
社債	250,000	—
その他	40,667	—
固定負債合計	290,667	—
負債合計	1,151,370	736,913
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,195,801	3,195,801
資本剰余金	2,869,656	2,869,656
利益剰余金	12,598	891,019
株主資本合計	6,078,055	6,956,476
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,619	—
為替換算調整勘定	△11,211	△14,457
評価・換算差額等合計	△14,831	△14,457
少数株主持分	60,707	69,610
純資産合計	6,123,932	7,011,630
負債純資産合計	7,275,302	7,748,543

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	2,471,876
売上原価	1,923,950
売上総利益	547,926
販売費及び一般管理費	1,028,768
営業損失(△)	△480,842
営業外収益	
受取利息	8,684
為替差益	1,590
その他	6,245
営業外収益合計	16,520
営業外費用	
支払利息	7
営業外費用合計	7
経常損失(△)	△464,329
特別損失	
開発中止損	328,907
特別損失合計	328,907
税金等調整前四半期純損失(△)	△793,236
法人税、住民税及び事業税	52,782
法人税等調整額	△64,731
法人税等合計	△11,949
少数株主損失(△)	△11,558
四半期純損失(△)	△769,728

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	1,437,762
売上原価	1,291,695
売上総利益	146,067
販売費及び一般管理費	593,407
営業損失(△)	△447,340
営業外収益	
受取利息	5,244
その他	5,780
営業外収益合計	11,024
営業外費用	
支払利息	7
為替差損	1,895
営業外費用合計	1,903
経常損失(△)	△438,218
特別損失	
開発中止損	328,907
特別損失合計	328,907
税金等調整前四半期純損失(△)	△767,126
法人税、住民税及び事業税	15,729
法人税等調整額	△40,926
法人税等合計	△25,197
少数株主損失(△)	△8,638
四半期純損失(△)	△733,290

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△793,236
減価償却費	147,625
開発中止損	328,907
売上債権の増減額(△は増加)	563,844
たな卸資産の増減額(△は増加)	131,576
仕入債務の増減額(△は減少)	202,632
その他	△81,704
小計	499,645
利息及び配当金の受取額	8,664
法人税等の支払額	△353,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△110,110
無形固定資産の取得による支出	△43,849
定期預金の払戻による収入	600,000
敷金の差入による支出	△52,762
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△232,987
その他	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	160,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000
配当金の支払額	△107,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	182,003
現金及び現金同等物の期首残高	3,374,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,556,399

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報  
〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	コンシューマー ゲーム事業 (千円)	アミューズメン ト事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上 高	994,175	443,586	1,437,762	—	1,437,762
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	994,175	443,586	1,437,762	—	1,437,762
営業利益	△427,559	84,595	△342,964	△104,376	△447,340

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	コンシューマー ゲーム事業 (千円)	アミューズメン ト事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上 高	1,793,729	678,146	2,471,876	—	2,471,876
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,793,729	678,146	2,471,876	—	2,471,876
営業利益	△468,553	202,739	△265,813	△215,028	△480,842

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマーゲー ム事業	家庭用ゲーム機向けゲームソフト、携帯型ゲーム機向けゲームソフト
アミューズメント事 業	アミューズメント施設向けゲーム機器及び周辺グッズ

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,424,683	13,078	1,437,762	—	1,437,762
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	253	8,161	8,415	△8,415	—
計	1,424,937	21,240	1,446,177	△8,415	1,437,762
営業利益	△308,534	△34,429	△342,964	△104,376	△447,340

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,417,142	54,733	2,471,876	—	2,471,876
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	503	8,161	8,665	△8,665	—
計	2,417,646	62,895	2,480,541	△8,665	2,471,876
営業利益	△219,686	△46,127	△265,813	△215,028	△480,842

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。  
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
 北米・・・米国、カナダ

〔海外売上高〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	米国	欧州	計
I 海外売上高 (千円)	137,353	110,346	247,699
II 連結売上高 (千円)			1,437,762
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.6	7.7	17.2

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	米国	欧州	計
I 海外売上高 (千円)	332,312	223,961	556,274
II 連結売上高 (千円)			2,471,876
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.4	9.1	22.5

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。  
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
 欧州：イギリス、スペイン

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		2,621,510 100.0
II 売上原価		1,693,788 64.6
売上総利益		927,722 35.4
III 販売費及び一般管理費		769,822 29.4
営業利益		157,899 6.0
IV 営業外収益		
1. 受取利息	1,972	
2. 社宅移転補償金	2,400	
3. その他	582	4,955 0.2
V 営業外費用		
1. 支払利息	485	
2. その他	183	669 0.0
経常利益		162,185 6.2
税金等調整前中間純利益		162,185 6.2
法人税、住民税及び事業税	244,303	
法人税等調整額	△102,986	141,317 5.4
少数株主利益		561 0.0
中間純利益		20,307 0.8

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	162,185
減価償却費	59,441
のれん償却額	8,608
賞与引当金の増加額	16,804
受取利息及び受取配当金	△1,972
支払利息	485
売上債権の増加額	△17,286
たな卸資産の増加額	△563,135
仕入債務の増加額	122,833
未払金の増加額	60,462
前受金の減少額	△93,000
その他	46,165
小計	△198,408
利息及び配当金の受取額	1,972
利息の支払額	△485
法人税等の支払額	△255,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	△451,930
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△28,014
無形固定資産の取得による支出	△46,966
敷金の差入による支出	△27,232
敷金の返還による収入	1,200
新規連結に伴う子会社株式取得による支出	△35,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,885
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(純額)	72,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,288
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,484
V 現金及び現金同等物の減少額	△515,043
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,806,096
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,291,052

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

ゲームソフト開発事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,207,679	413,830	2,621,510	—	2,621,510
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,207,679	413,830	2,621,510	—	2,621,510
営業費用	1,864,468	412,785	2,277,254	186,356	2,463,610
営業利益	343,211	1,045	344,256	△186,356	157,899

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。  
2. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（186,356千円）は当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

[海外売上高]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	米国	欧州	計
I 海外売上高 (千円)	1,018,586	—	1,018,586
II 連結売上高 (千円)			2,621,510
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	38.9	—	38.9

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。